

M. Sさん 31歳 医療関係

【令和6年受験対策 社労士合格コース(教室通学)】

Q. 社会保険労務士試験を目指そうとしたきっかけを教えてください。

- A. 障害年金の請求手続きに使用する診断書の作成に関わる仕事をする中で、「社労士の先生にアドバイスをされて来院しました」と仰る患者さんが年々増加しているように感じ社労士の仕事に興味をもったことがきっかけです。

Q. 社会保険労務士試験を目指すのに大原を選んだ理由を教えてください。

- A. SNS や YouTube で大人気の社労士 24 の金沢先生をきっかけに大原を知り、実際に静岡校で受講相談をした時に柴山先生がとても丁寧に1年間の受講スケジュールなどを教えてください、ここなら1年間頑張れそうだと思い静岡校への通学に決めました。柴山先生やスタッフの方々がみんな親切にしてください、本当に感謝しています。柴山先生オリジナルのレジュメも最高でした。

Q. 1日何時間程度、勉強しましたか？

- A. 平日:0~2時間
休日:0~5時間
直前期:6~15時間

3月までは0時間の日もたくさんありました。机に向かって勉強したのはトータルで800時間程度だと思います。あらゆるスキマ時間に社労士24を見ていました。

Q. 1番苦勞した科目は何ですか？どのように克服しましたか？

- A. 雇用保険です。給付の全体図を白紙に書き出して「給付の内容を一言で言うと？」「出てくる数字は？」などの解説を自分でしていました。キーワードを書いて自分で解説する方法は年金科目でも役に立ちました。「子に絡む加算」をテーマに「国民年金、厚生年金、老齢年金、障害年金、遺族年金それぞれどうなるか？」みたいな感じで白紙に書いていました。

Q. 問題集は何回繰り返しましたか？

- A. 択一トレ問:10回転(全科目)
選択式トレ問:安衛・労一・社一 ⇒ 5回転 その他 ⇒ 3回転
学習初期の頃は○or×の正解を合わせることに、該当箇所のテキストを読むことで精一杯でしたが、後期にはなぜ×なのか？自分で解説ができるようになることを目指しました。自信があっても必ずテキストに戻るよう心掛けていました。

Q. 5月頃(直前期に入る前)までの勉強方法について教えてください。

- A. 初学だったので予習はせず授業を受けて択一トレ問の該当箇所を解き、根拠となる部分のテキストを一読することを毎週繰り返していました。よく分からない箇所は社労士24を見たり柴山先生に直接質問してその都度解決するようにしていました。スキマ時間の社労士24視聴では、

疑問に思うところを携帯にメモしておき、きちんと時間が取れる時にテキストで調べなおすことを習慣にしていました。

Q. 6月以降(直前期)の勉強方法について教えてください。

- A.** トレ問、定例試験、模試などにかく大原でもらった教材をやり込みました。大原の教材で出題された論点はテキストの該当箇所に書き込みをしていたので(例: 択一トレ問001⇒TR001)8月に行った全科目のテキスト通読の際に頻出論点の確認と問われ方の想起が一気にできてテキスト通読で一石何鳥にもなってとても良かったと思います。

Q. 本試験当日に注意すべき点など、何かアドバイスはありますか？

- A.** 模試が2回あるので、その時に自分なりの解く順番や一旦休憩を入れるタイミングを決めておく方が良いと思います。あとはこれまで勉強してきた自分を信じてよっぽどの根拠がない限り最初に出した解答を変えない方が良いです。持っていくとよいものなどはX(旧 Twitter)に色々な方が投稿して下さっているものが参考になりました。

Q. 今後はどんな道に進む予定ですか？または、現在どのような道に進んでいますか？

- A.** まだ何も具体的なことは決めていません。行政協力の年金相談員にも興味があるので登録してみようと思います。

Q. 率直に、合格発表直後の心境はいかがでしたか。

- A.** 素直に嬉しかったです。自己採点も合格発表の確認も自分ではできないほどメンタルが弱く、試験勉強でもメンタル面でかなり苦労したため、再チャレンジは全く考えていなかったのがほっとする気持ちもありました。